

東京都病院協会 会報



東京都病院協会
医療共済制度 引受保険会社

東京都墨田区錦糸1-2-4 AIGタワー18F
アリコ ジャパン 全国法人開発部
TEL(03)5619-3827

発行所：一般社団法人東京都病院協会 / 発行人：河北博文 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-5 東京都医師会館内306号
TEL:03-5217-0896 / FAX:03-5217-0898 / URL : http://www.tmha.net / E-mail : tmha@mri.biglobe.ne.jp

2010年(平成22年)2月24日
第154号
毎月1回 定価 200円(会員購読料は会費含む)

参加者五百十名！ 平成二十二年二月十四日(日) 第五回東京都病院学会開催 主題「医療再生への パラダイムシフト」



来賓には、休日にもかかわらず東京都福祉保健局技監櫻山豊夫氏と東京都医師会会長鈴木聰男氏のお二人にご列席いただき、本学会開催の祝

「医療再生へのパラダイムシフト」現実を踏まえて」として、病院の医療現場にしっかりと足を踏まえて、そこから次のステップへの足がかりになるような充実した有意義な学会にした」との力強いメッセージがありました。



開会に先立ち木村学会長、木村学会長挨拶では、本学会にも唱われている通り、

バンクーバー冬季オリンピック開会式の翌日、平成二十二年二月十四日(日)木村佑介学会長の下、第五回東京都病院学会が、東医健保会館全館を借り切って開催されました。



学部教授権丈善一氏の基調講演と進行して行きましたが、本学会は、これまで開催されて来た学会とは様相を一変するものとなりました。



辞と当協会への期待と抱負などについて語りました。学

その第一は、学会の開催に際して、いつも課題となってきた参加者の動員数です。これまで約四百名前後にとどまっていたものが、今回は五百十名の参加者を得ることができて、いずれの会場も終始一杯の参加者で埋めつくされました。

第二は、多数の演題応募です。これまでの演題発表は、五テーマぐらいに発表テーマを決めて演題募集を行って

いましたが、今回は病院の各部門別を対象にどんなテーマでも自由に発表する形式に変更したため、六十演題を超える応募がありました。

加えて、新たに二十三題のポスター発表もありました。

第三は、これまでの演題発表の座長は、当協会役員が担当して来ましたが、今回は、各部門の専門職員にも座長に加わっていただきました。病院の各部門について、よく知りつくしている逸材が担当したことあって、発表後の質疑応答も活発に行われ、より具体的に親しみやすい演題発表となりました。

スト有賀徹氏(昭和大学病院副院長)、飯田達能氏(永生病院院長)、櫻井幸枝氏(都福祉保健局医療政策部医療改革推進担当課長)、築山節(北品川病院院長)、内藤誠二(内藤病院理事長)の六名によって熱く語られました。

東京の病院数、病床数は全国一ですが、人口十万人比では全国水準を大幅に下回っています。また、都民の急速な高齢化が進んでおります。限られた医療資源で、都民が安心できる医療体制を確保するには、実態に即した医療連携の充実が不可欠であるとのディスカッションに終始する厳しいシンポジウムとなりました。

いずれにしても、これまでの学会とは、様相が一変したプログラム展開となったものの、いずれの会場も熱気にあふれた充実した学会となりました。

今回の学会開催が期待されます。

理事会報告(2月)

平成21年度の臨時総会が、平成22年3月16日午後8時より、東京都医師会館 307会議室にて、平成22年度事業計画及び予算案を議案として開催することが承認されました。

区東北部医療圏による初の地区懇談会が、1月22日に東京都医師会館で行われました。参加した理事からは、「病院同士が集まって意見交換を行なう場がなかったので、いい機会ができた。」「協会がまとまるためにはいい企画であった。」との感想が述べられ、有意義な会となりました。総務委員長より、今後、4月以降に開催を予定している地区懇談会には、当該地区の理事病院以外の会員病院の参加も薦めていきたい、との意向が示されました。

東京都医師会より、地域医療における連携推進のためには、診療所、病院そして行政の3者の協力が不可欠であるとして、「地域医療連携推進協議会(仮称)」設置の提案がありました。協議会を発足するにあたり、当協会より安藤副会長、稲波副会長、猪口総務委員長の3名が委員として推薦・参加することとしました。

他に「第21回日本在宅医療学会学術集会」の後援名義の使用について承認しました。

学会長講演(抜粋)

演題「地域医療再生
三つの鍵」

学会長 木村 佑介
(東京都病院協会常任理事
/ 佑和会木村病院理事長)



木村佑介

も早い改善の必要性を強調されました。第二の施設の役割については、昨今の厳しい医療崩壊は、病院医療の崩壊であるとして、勤務医と開業医との賃金格差是正を早急に進めた上で、本来あるべき開業医の役割を果すべきであると指摘されました。

そして病院は、医師も含めて病院職員約七十六%が女性であることから、病院における女性の職場環境の改善「子育て支援」「親の介護支援」など女性を大切にす職場づくりが必要であると強調されました。

第三の患者さんの役割については、病院は本当に病気で困っている人を受け入れる施設であるにもかかわらず、そういったことを良く考慮しないで通院して来る人が増え続けている実状に対して、高い診療費、一回四千元とか五千元を徴収すべきだとの具体的な指摘もありました。

講演はまず、「現在の中小病院の現状は療養病床の再編、医療機能強化型の老人保健施設の転換促進への政策誘導、七・一看護の創設による看護師不足、新医師臨床研修制度による大学病院医局の医師引き揚げ、医師不足(偏在ではない絶対数の不足)、医療法人制度の再編」に課題があるとして、そのためには「地域医療再生の三つの鍵として 医療と診療科の問題 施設の役割、患者さん(住民)の役割」が重要であるとの発言がありました。

医療と診療科の問題については、外科、産婦人科を除いて医師数は年々増えてきているにもかかわらず、外科と産婦人科の医師は減り続けている。その医療現場の実状は、他の診療科に較べて過酷な状況に追いやられている。一日

今後の課題については、医療提供者と患者さんとの連帯感の醸成と患者さんの医療に対する信頼を確保することが重要で、そのためには医療提供者側から本来医療機関のあるべき姿を示すことが大切であると主張されました。

そして最後に、これまで医療者や医療機関には、住民や社会の信頼と安心を提示する努力が足りなかつたとして「神様、変えられないものを受け入れる心の静けさと、変えられるものを変える勇気と、その両者を見分ける英知を私に与えて下さい」(ラインホールド・ニーパー)との言葉を引用して、「リーダーは知恵だけでなく、実行する勇気を持たなければいけない」ことを強調して終了しました。

東京都病院協会
会員懇談会始まる
一 区東北部医療圏
(足立区、荒川区、葛飾区)

二月二十二日(金)第一回東京都病院協会会員懇談会が開催されました。現在東京都病院協会(以下都病協)には、三百五十五病院が所属しています。しかし、これまでに会員病院間の話し合いの場が持たれることはなく、事務連絡、アンケート調査、講習会、などを介しての結び付きに終始していた嫌いがあります。最近、地域医療ということが頻りに喧伝されるようになったことを受け、地域の病院はどのような意図をもって行動しているのか、都病協への提言や訴えは、いかなるものがあるのか、など実際に一堂に会し話し合う必要があるのではないかと、という声が理事会で挙がり、早速実行に移すこととなった、というのが経緯です。

東京電力 logo (TEPCO) and Switch! logo. Text: 優れた環境性・安全性・経済性。病院、介護・福祉施設もオール電化にSwitch! 安全でクリーンな電化厨房、高効率で経済的なヒートポンプ給湯機や空調システムなど、オール電化が、ヒトにも環境にも優しいこれからの施設づくりをお手伝いします。 [Switch!] x [病院、介護・福祉施設] お問い合わせ：東京電力株式会社 法人営業部 都市エネルギーソリューション部 営業第四グループ TEL.03-6373-1111(代表) www.tepco-switch.com/biz

診療情報管理勉強会 第九回全体会報告

でも良いが情報公開について検討してほしい。(これについては東京都病院協会に窓口を作ることを要望中)

四、に関しては

医療機関が受け取ったワクチンの医療機関による買い取りは止め、余分となったものについては引き取りを希望

一月二十八日、診療情報管理勉強会第九回全体会を開催しました。

前半は各分科会の活動報告を行いま

した。

DPCC分科会は、参加施設が持ち寄った平成二十一年七月度DPCCの様式

の病名データを収集し、詳細不明コード(90コード)の割合とその内訳について報告を行いました。

入門・基礎分科会は病院機能評価総合

版評価項目Ver6を用いて自施設の診療記録管理の現状を把握し、問題点の抽出とその対策を検討しています。今回は、「4.15.2」診療記録が必要時に迅速に提供されている」の評価項目についての各施設の現状報告を行いました。

統計分科会は、自施設のサンプルデータを利用して実際に統計表を作成し、ディスプレイシオンを行うことで、標準的な統計の作成法や、コンピュータースキルの習得を目指しています。

後半の講演会では日本大学医学部社会医学系 医療管理学分野 准教授の梅里良正先生を講師にお招きし、「病院機能評価Ver6について」診療情報管理のために必要な医療機能評価の知識、

五、に関しては

理事会で報告しました通り、今回の懇談会は、非常に有意義であったとの意見があり、今後も継続して行くべきだと考えます。

他の医療圏においても積極的に進められることを期待します。

をテーマにご講演いただきました。

一、診療情報管理関連評価項目の概要、二、診療録の管理、三、医療情報システムの管理、四、診療情報の管理について、とくに診療情報管理に関する「1」情報管理、「2」診療記録の管理、「4」情報システム管理の関係と相違の観点からお話を伺いました。

講演後の質疑応答のうち主なものをご紹介します。Q:「サマリー完成率の具体的な数値が出されていないが、実際の審査ではどの程度が求められるか?」A:「記載率は100%を求めるが、一冊でも書かれていなければ認定されないというような評価はしていない。

病院の規模や機能などによっても厳しさは変わる。O:「Ver5までは診療情報管理担当者は業務の70%がその業務に携わっていたらよしとされていたが、Ver6では最低一人は有資格者が必要とある。診療情報管理士の立場が変わったのか?」A:「専従・専任の別は、Ver5でもVer6でも規定されていない。診療の情報、病院経営の基盤であり、それに携わる職種は診療情報管理士が適任である。そのような点に期待している。」とのことでした。

次回は四月十三日の予定です。新規の入会については事務局までお問い合わせ下さい。



故佐々英達氏

佐々総合病院元理事長であり当協会現監事の佐々英達先生が二月三日午後二時十五分に急性腎不全のため急逝されました。

佐々先生には協会発足時より、当協会の運営に多大なるご尽力をいただきました。河北博文会長による弔辞(要旨)を掲載するとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

当協会での役歴

- 平成九年四月一日、
- 平成十一年三月三十一日 常任理事
- 平成十一年四月一日、
- 平成十三年三月三十一日 理事
- 平成十五年四月一日、
- 平成十七年三月三十一日 理事
- 平成十七年四月一日、
- 平成十九年三月三十一日 理事
- 平成十九年四月一日、
- 平成二十一年三月三十一日 監事
- 平成二十一年四月一日、
- 現在 監事

佐々英達先生を悼む

東京都病院協会

会長 河北博文

今から二十六年前の六月に、わが国の病院医療をもっと豊かなものにしたいと集まった若手の病院人の中に、今日に至るまで、志を同じくし活動して

きた仲間ができました。その中の一人が佐々英達先生でした。

「病院経営や医療政策なんて一番苦手なんだけど」と言う佐々先生に私がお声をかけ、無理に参加をしていたいただきましたが、温厚なお人柄は全員の気持ちをまとめていくには無くてはならない存在であり、あまり多くはない一言一言が極めて本質をついていたものでした。この集まりは、現在の東京都病院協会の中核となり、さらには全日本病院協会の活力となってきました。

佐々先生は、人に押されて全日本病院協会の会長を八年なさいました。佐々先生の人格と見識の高さには、いつも頭が下がる思いでした。

私ことですが、東京大学医学部病理学教室の大先輩でいらした平福一郎先生、慶應義塾大学医学部病理学影山圭三教授、そして私の両親も、佐々先生とは、とても親しい間柄であり、勉強、野球、ゴルフなど思えばつきません。

私も狭山ゴルフクラブで佐々先生の右側の林の上からフェアウェイに戻る大きなフックボールが今でも目に浮かびます。佐々先生は、二〇〇八年佐々総合病院一〇〇周年をお祝いしながらも、病院の行く末を、とても気にかけておられました。その後、病院は新しい体制のもと、しっかりと将来像を持つようになったことを見届けておられたと思います。

それにしても、こんなに良い方が早く亡くなられたこと、とても残念に思います。東京の仲間たち一同になり代わりまして、ここに佐々先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

Panasonic

マンモグラフィ画像診断で必要とされる機能に特化した専用ワークステーション



Plisimo Mammo WS

医用画像管理をトータルシステムでご提案します

パナソニック メディカルソリューションズ株式会社
panasonic.co.jp/psec/pmsc

〈お問い合わせ先〉

【大阪】〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

Tel : 06-6905-4161 Fax : 06-6905-8359

【東京】〒105-0011 東京都港区芝公園1丁目2番1号 東京パナソニックビル3号館 6階

Tel : 03-6403-3019 Fax : 03-3438-5045

メール: plisimo@gg.jp.panasonic.com

研修会のご案内(3・4月)

事務管理部会

「平成22年度診療報酬改定に伴う届出事項説明会」

日時:平成22年3月30日(火)午後2時~午後4時
会場:野口英世記念会館(JR千駄ヶ谷駅徒歩9分)
講師:関東信越厚生局東京事務所担当官
定員:先着300名(定員を超えた際は、ご連絡致します)
参加費:会員3,000円 非会員6,000円 当日会場で申し受けます)

教育倫理委員会

「新入職員~病院早わかり研修~」

日時:平成22年4月9日(金)午前9時~午後4時20分
会場:東医健保会館大ホール(JR信濃町駅徒歩5分)
内容:「医療とは何か?」「判例から見た医療人のあり方」「職業人としての心構え」「病院職員のための接遇」「医療の質とサービスの向上」「医療安全と院内感染防止」「質疑応答」
定員:先着250名(定員を超えた際は、ご連絡致します)
参加費:会員6,000円 非会員12,000円
(参加費は事前振込制、テキスト・昼食付です)
締切り:平成22年3月31日(水) テキスト・昼食手配の為
連絡先:東京都病院協会事務局 TEL:03-5217-0896

アンケート調査報告

「平均夜勤時間 72時間以内」 規定について

慢性期医療委員会

(本調査は平成21年8月28日から9月15日にかけて実施した結果をまとめたものです)

【調査対象】

調査は会員病院三百四十八病院を対象に、百十九病院から回答があった(回収率:三十四・二%)。

【七十二時間要件の充足状況】

毎月要件を満たしている回答した病院は六十六病院(五十五・五%)、一割未満だが要件を満たさない月があると回答した病院は四十病院(三十三・六%)であった。理由は、勤務者

の急な欠勤が二十五病院(六十二・五%)であった。

将来的な展望では、満たせなくなる可能性があると回答した病院は六十病院(五十四・四%)で、その理由(複数回答)は「看護職員・要員の不足」が

四十四病院(五十一・二%)、「夜間勤務可能者の不足」が四十病院(四十六・五%)であった。

日勤のみの看護師の採用に関しては、現場が回らないためにやむなく採用していると回答した病院が七十四病院(六十二・二%)、採用を控えている病院は三十病院(二十五・二%)であった。

七十二時間に対する負担感は大いに「が十一病院(九・二%)と「ある」が五十九病院(四十九・六%)で負担を感じている病院が半数を超えている。

【七十二時間以内にするための工夫】

月平均夜勤時間の計算単位では、「一ヶ月単位」が八十一病院(六十八・一%)で「四週間単位」が三十六病院

(三十三・三%)であった。夜勤専従者の配置については、「配置している」が八十一病院(六十八・一%)で、「配置していない」が三十六病院(三十・三%)であった。

看護職員の「早番」「遅番」の有無については「ある」が七十二病院(六十・五%)、看護補助者は「ある」が八十四病院(七十・六%)であった。

夜勤時間帯の変更の実施に関しては「なし」との回答が百九病院(九十一・六%)であった。

看護人員が入院基本料ぎりぎりの病院は、夜勤可能者が少なく、急な欠勤や産休などがあり、継続して七十二時間要件を維持していくことは難しいことがわかる。

【当直確保のための手段】

当直可能な看護師を確保するために基本給や当直手当などで日勤看護師との差別化を行っているかについては、

差をつけていないと回答した病院が七十二病院(六十・五%)、差別化している病院は四十五病院(三十七・八%)であった。

金額では月額で「一万円~三万円」が最も多く十八病院(四十四・〇%)であった。

【七十二時間要件は看護師の労働条件の改善に「なっていないか」

「なっていないか」と思っているか)が四十二病院(三十三・三%)、「逆に悪くなっているかと思

新作映画鑑賞のご案内

文部科学省選定・村橋明郎監督作品

育子からの手紙

【キャスト】宮崎香蓮/原日出子/有森也実/天宮良/舘太/田中実/中西良太/渡辺梓/渡瀬恒彦(特別出演)/佐藤B作他

【概要】「育子からの手紙」(1989年筑摩書房刊)は、15歳という若さで世界した少女の「生」と「希望」を世に伝えたい、その一心で普通の主婦が記した著作を映画化したものです。

チケットの購入・上映会主催のお問合せ

「育子からの手紙」製作委員会事務局 03-3400-3800

http://film-crescent.com/ikuko/

【まとめ】

多くの病院が七十二時間要件への対応に苦慮している実情が窺え、中には、存続についての危機感を訴える回答もあり、規定の改善の必要性を強く感じた。

【七十二時間要件についての意見】

ほとんどの病院で七十二時間要件の廃止もしくは緩和を希望している。欠員を生じた場合は、高額な人材紹介料を支払い採用せざるを得なく、経営にも大きな負担となっている様子も窺える。

日勤を希望する看護師も多く、規制の緩和が必要との意見も多い。



2月27日(土)より第1期登録受付開始

JR「板橋」駅徒歩2分 新三田線「新板橋」駅徒歩5分 池袋へ1駅3分 全75邸の複合開発 商業施設併設

■「プラウドシティ池袋本町」第1期物件概要●所在地/東京都豊島区池袋本町4丁目2016-98及び、東京都板橋区板橋1丁目2546-5(地番)●交通/JR埼京線「板橋」駅徒歩2分、都営三田線「新板橋」駅徒歩5分、東武東上線「下板橋」駅徒歩4分●敷地面積/20,559.38㎡●用途地域/第一種住居地域●建築確認番号/JRUEC連確210363号(平成22年1月27日付)●構造/鉄骨コンクリート造地上15階・地下1階建●総戸数/785戸●販売戸数/325戸●間取り/2LDK~4LDK●専有面積/58.07㎡~87.45㎡(トラスクラム面積/0.32㎡~0.56㎡含む)●バルコニー面積/10.19㎡~22.03㎡●サニタリー/洗面/1.51㎡~5.31㎡●テラス面積/10.19㎡~13.27㎡●サービスエントランス面積/5.11㎡~5.31㎡●専用庭面積/19.80㎡~31.29㎡●専用バルコニー面積/31.99㎡~43.47㎡●専有価格/4,190万円(1戸)~8,380万円(1戸)●最多販売価格帯/5,500万円台(30戸)●管理費(月額)/12,500円~18,800円●修繕積立金(月額)/4,560円~9,880円●コミニティ形成費(月額)/100円●共掲施設使用料(月額)/242円●管理準備金(引渡時一括)/10,170円~15,320円●修繕積立基金(引渡時一括)/393,600円~592,800円●専用使用料(月額)/600円~770円●ルーフトop使用料(月額)/960円~1,310円●駐車場/283台(月額使用料26,500円~33,000円)※身障者専用1台含む※他にカーシェア用・乗客用7台分●バイク置場/10台(月額使用料6,000円)●ミニバイク置場/35台(月額使用料2,000円)●自転車置場/1,190台(月額使用料200円・300円)※他にレンタサイクル用40台分●可渡予定時期/平成23年3月下旬●管理形態/区分所有者全員に管理組合を構成していただく。運営・管理業務は野村リビングサポート(株)に委託(予定)●施工/株式会社長谷工コーポレーション●売主/野村不動産株式会社(国土交通大臣免許)第1370号(社)不動産協会会員(社)首都圏不動産公正取引協議会加盟、東京都新都区西新宿1-26-2新宿野村ビル●監介/野村不動産アーバンネット株式会社(国土交通大臣免許)第6101号(社)不動産流通経営協会会員(社)首都圏不動産公正取引協議会加盟、東京都新都区西新宿1-26-2新宿野村ビル●広告有効期限/平成22年3月21日○第1期登録受付期間/平成22年2月27日(土)~3月6日(土) 10:00~18:00。最終日は16:00までとなります。お申し込みの際は、印鑑(お認印)と平成21年分の収入証明書をお持ちください。○抽選日時/平成22年3月6日(土) 18:00~○登録受付・抽選場所/「プラウドシティ池袋本町」マンションギャラリー※上記所要時間は日中平準時のもので時間帯により異なります。※池袋へは「板橋」駅よりJR埼京線を利用した場合の所要時間です。※掲載の完成予想図は計画段階の図面を基に描き出したもので、実際とは多少異なります。また、外観の設備機器等については表紙上掲しております。なお、植栽は特定の季節を示すものではありません。竣工時には完成予想図程度には成長しております。

【表示】 野村不動産 sing 検索 0120-245-785

www.sing-tokyo.jp